

New Adventures



LET'S FIND THE NEW WORLD.



CONTENTS

長期（半年・1年）留学制度の特徴 ……	2	長期留学提携校紹介 ……	8
長期留学をするために ……	3	海外・語学研修授業紹介 ……	13
2022年度 長期留学応募資格 ……	4	スポーツ科学部、現代文化学部	
長期留学へのスケジュール ……	6	短期留学紹介（海外語学演習） ……	14

長期留学制度の特徴

(半年・1年)

駿河台大学では、長期留学提携校として、
世界7カ国・10大学と
交換・派遣留学協定を結んでいます。

提携大学との留学の形態は、「交換留学」「派遣留学」の2種類があり、留学期間は半年または1年です。駿河台大学では、この長期留学制度を利用する学生を、

①学業、②費用、③留学手続き・生活の
3つの面からサポートします。



駿河台大学の3つのサポート

Support 1

学業のサポート

4年間で卒業することも可能

- ◆留学期間も駿河台大学で学んだ年数に算入されるため、**4年間で卒業することも可能**です。
- ◆留学先での学習が駿河台大学の単位として認定され、**留学中も最大40単位修得することが可能**です。(留学前の履修登録、留学後の単位認定については、所属する学部の教務課で確認してください。特に、教職・資格課程履修者ならびに公認心理師資格希望者については、事前に担当教員に必ず相談をしてください。)

Support 2

費用のサポート

留学先の授業料を大学がサポートします。 さらに、往復の航空券・奨学金を支給。

- ◆**留学先の授業料を大学がサポートします。**
海外の大学の授業料は通常年間200万円以上になることも珍しくありませんが、この長期留学制度を利用すると、**駿河台大学の学費を支払えば**、留学先大学の学費を駿河台大学が負担します。
※ただしパスポートやビザ申請等の留学前の諸費用、および宿泊(寮)費、食費などは自己負担となります。留学先にもよりますが、**年間100万円～250万円程度**と考えてください。
- ◆**往復の航空券を支給します。**
渡航先によっても異なりますが、往復航空券は、通常20～60万円程度かかります。その往復の航空券も大学が用意します。
- ◆**奨学金10万円を給付します。**
「駿河台大学留学奨学金」として、ひとり10万円を給付します。給付奨学金なので返還義務はありません。

Support 3

手続き・生活のサポート

留学決定後から留学終了まで教職員がサポート

- ◆留学先大学への願書提出や、住まいの確保、ビザの取得など、留学に伴う諸手続きはグローバル教育センター委員(教員)がサポートします。
- ◆留学事前指導(ガイダンス)を行い、安心して留学ができるようにします。
- ◆留学中には、駿河台大学の教職員が主にE-mailを利用して留学をサポートします。留学中に起こった生活面、学業面での悩みも気軽に相談できます。
- ◆留学中には専門機関による危機管理サポートや海外健康サポートを受けることができます。24時間365日、日本語による相談が可能です。本人だけでなく、保証人様も利用することができます。

長期留学をするために

交換・派遣留学生として提携大学へ長期留学するためには、下記の応募資格を満たし、グローバル教育センターが実施する**長期留学選考**に合格しなければなりません。なお、いきなり長期留学は不安もあると思いますので、まずは「海外語学演習」(P14)に参加してみることもお勧めします。

応募資格

I. 本学への学費が遅滞なく納入されており、今後も遅滞なく納入されること

II. 留学の時点で、本学において1年以上修学していること

面接選考は、留学する前年度に行います（1年次・2年次・3年次生が応募できます）。

※編入生の場合は、留学までに最低1年間駿河台大学に在籍していることが条件です。

※ロンドン大学 SOAS は、2年次生の派遣はありません。

III. 必要とされる語学能力が一定のレベルに達していること

【英語圏への留学】

大 学	TOEIC	TOEFL		IELTS	英検
		ITP *	iBT		
ロンドン大学 SOAS	×	×	52	4.0	×
カンタベリー・クライスト・チャーチ大学	385	430	39	3.0	2級
カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校	385	430	39	×	2級
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	385	430	39	×	2級
モナシュ大学	385	×	31	4.0	×

※TOEIC、TOEFLのスコアはいずれも2019年4月以降に受験したものが有効です。

※実用英語技能検定は、2018年4月以降に合格した通知書のみ有効。なお、2級を取得している場合もTOEICやTOEFLの受験を強くお勧めします。

* TOEFL ITP試験は、Level. 1のスコアのみが有効です。

【非英語圏への留学】

該当する語学の専任教員からの推薦が必要です。

語学担当 専任教員	ドイツ語	明石真和／小林将輝
	フランス語	山下尚一
	中国語	葉紅
	韓国語	朴昌明



IV. 各学部の定める応募資格を満たしていること

各学部では留学への応募条件として、各年次の必要単位数、学業成績などを定めています。今年度の応募条件はP 4-5の通りです。所属する学部・学年の条件を参照してください。

原則 全学部共通 1) 細則に定める必要最低単位数を修得見込みであること 2) 細則に定める必修科目単位を修得見込みであること

2年次に留学(1年次応募)の場合

法学部

- a 1年次において40単位以上修得見込みであること
- b 下記の科目を修得見込みであること

法学入門A	2単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
必修外国語科目	4単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位
コース共通基礎科目	6単位

経済経営学部

- a 1年次において40単位以上修得見込みであること
- b 1年次必修科目のうち下記の12単位を修得見込みであること

必修外国語 第1	2単位
必修外国語 第2	2単位
プレゼミナールⅠ/Ⅱ	4単位

※上記以外の1年次配当必修科目の16単位〔経済・経営と社会(2単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学入門Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位)〕についても、修得しておくことが望ましい。

メディア情報学部

- a 1年次終了時点において36単位以上修得見込みであること
- b 1年次配当科目のうち下記の必修科目を修得見込みであること

基礎教育科目群	4単位	メディアと情報資源、コンピュータ・リテラシーⅠ/Ⅱ
キャリア教育科目群	2単位	キャリア基礎Ⅰ
外国語科目群	4単位	一般学生 英語表現Ⅰ/Ⅱ、選択した第2外国語表現Ⅰ/Ⅱ
		留学生 日本語総合Ⅰ/Ⅱ、日本語表現Ⅰ/Ⅱ
専門科目群	6単位	プレゼミナールⅠ/Ⅱ、マルチメディア論

3年次に留学(2年次応募)の場合

- a 2年次までに80単位以上修得見込みであること
- b 下記の科目を修得見込みであること

法学入門Ⅰ	2単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
必修外国語科目	4単位
プレゼミナールⅠ～Ⅳ	8単位
コース共通基礎科目	6単位

- a 2年次までに80単位以上修得見込みであること
- b 1、2年次必修科目及び専攻基礎科目のうち下記の30単位を修得見込みであること

必修外国語 第1	4単位
必修外国語 第2	4単位
選択必修外国語	2単位
プレゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	8単位
専攻基礎科目	8単位
専攻基幹科目	4単位

※1、2年次配当必修科目の24単位〔経済・経営と社会(2単位)、プレゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ(8単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学総論Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位)〕については、修得しておくことが望ましい。
※コース選択を意識して専攻基礎科目、専攻基幹科目を履修しておくことが望ましい。

- a 2年次終了時点までに72単位以上修得見込みであること
- b 1、2年次配当科目(必修科目を含む)計52単位を修得見込みであること

基礎教育科目群	12単位	メディアと情報資源、プレゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ、コンピュータ・リテラシーⅠ/Ⅱ
キャリア教育科目群	2単位	キャリア基礎Ⅰ
地域科目群	6単位	
教養基礎科目群	12単位	健康・スポーツ実習Ⅰ/Ⅱを含む
第1外国語	4単位	英語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB(一般学生)、日本語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB(留学生)
第2外国語	4単位	選択した第2外国語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB
選択必修外国語	2単位	英語ⅢA/ⅢB(一般学生)、日本語ⅢA/ⅢB(留学生)、もしくは選択した第2外国語ⅢA/ⅢB
専攻基礎科目	8単位	学部科目6単位を含む
専攻基幹科目	2単位	メディア情報とキャリア

細則

4年次に留学(3年次応募)の場合

- a 3年次までに110単位以上修得見込みであること
- b 下記の科目を修得見込みであること

法学入門Ⅰ	2単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	2単位
キャリア教育科目群(キャリア基礎Ⅰ・キャリア実践Ⅰ含む)	6単位
必修外国語科目	4単位
プレゼミナールⅠ～Ⅳ	8単位
ゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位
コース共通基礎科目	6単位

- a 3年次までに110単位以上修得見込みであること
- b 1～3年次必修科目及びコース科目のうち下記の48単位を修得見込みであること

必修外国語 第1	4単位
必修外国語 第2	4単位
選択必修外国語	2単位
キャリア教育科目	6単位
プレゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	8単位
ゼミナールⅠ/Ⅱ	4単位
専攻基礎科目	8単位
専攻基幹科目	8単位
専攻発展科目	4単位

※1、2、3年次配当必修科目の26単位〔経済・経営と社会(2単位)、プレゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ(8単位)、基礎数学(2単位)、経済学の基礎(ミクロ編)(2単位)、経済学の基礎(マクロ編)(2単位)、国際経済の基礎(2単位)、経営学総論Ⅰ(2単位)、コンピュータ・リテラシーⅠ(1単位)、コンピュータ・リテラシーⅡ(1単位)、キャリア基礎Ⅰ(2単位)、キャリア実践Ⅰ(2単位)〕については、修得しておくことが望ましい。

- a 3年次終了時点までに108単位以上修得見込みであること
- b 1～3年次配当科目(必修科目を含む)計58単位を修得見込みであること

基礎教育科目群	12単位	メディアと情報資源、プレゼミナールⅠ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ、コンピュータ・リテラシーⅠ/Ⅱ
キャリア教育科目群	4単位	キャリア基礎Ⅰ、キャリア実践Ⅰ
地域科目群	6単位	
教養基礎科目群	12単位	健康・スポーツ実習Ⅰ/Ⅱを含む
第1外国語	4単位	英語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB(一般学生)、日本語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB(留学生)
第2外国語	4単位	選択した第2外国語ⅠA/ⅠB/ⅡA/ⅡB
選択必修外国語	2単位	英語ⅢA/ⅢB(一般学生)、日本語ⅢA/ⅢB(留学生)、もしくは選択した第2外国語ⅢA/ⅢB
専攻基礎科目	8単位	学部科目6単位を含む
専攻基幹科目	2単位	メディア情報とキャリア
専攻発展科目	4単位	ゼミナールⅠ/Ⅱ

3) 留学の時点で、本学において1年以上修学していること 4) 本学における成績のGPAが2.5以上であること

スポーツ科学部

- a 1年次において40単位以上修得見込であること
b 以下にあげる1年次必修科目33単位を修得見込であること

教養基礎科目	10単位	必修7科目(教養基礎講座、プレゼミナールⅠ・Ⅱ、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ、健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ)
必修外国語科目	4単位 4単位	第一外国語Ⅰ AB・Ⅱ AB 第二外国語Ⅰ AB・Ⅱ AB
キャリア教育科目	2単位	キャリア基礎Ⅰ
専攻導入科目	13単位	スポーツ科学入門A、スポーツ科学入門B、救急処置法、トレーニングサイエンス、ヘルスサイエンス、スポーツ文化論、チームビルディング

現代文化学部

心理学部

公認心理師を志望している場合は、事前にFAに相談する。

- a 1年次において34単位以上修得見込みであること
b 下記の必修科目を修得見込みであること

人間研究の視点A・B	計4単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ	計4単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	計2単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
当該外国語の1年次必修単位「英語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「英語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)または「日本語総合Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)、「日本語表現Ⅰ・Ⅱ」(計2単位)(いずれか計4単位)	
心理学概論A・B	計4単位

- a 2年次において80単位以上修得見込であること
b 以下にあげる1、2年次必修科目55単位以上を修得見込であること

教養基礎科目	10単位	必修7科目(教養基礎講座、プレゼミナールⅠ・Ⅱ、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ、健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ)
教養発展科目	4単位	プレゼミナールⅢ・Ⅳ
必修外国語科目	4単位 4単位	第一外国語Ⅰ AB・Ⅱ AB 第二外国語Ⅰ AB・Ⅱ AB
選択必修外国語科目	2単位	選択必修外国語Ⅲ AB
キャリア教育科目	2単位	キャリア基礎Ⅰ
専攻導入科目	13単位	スポーツ科学入門A・B、救急処置法、トレーニングサイエンス、ヘルスサイエンス、スポーツ文化論、チームビルディング
専攻基幹科目	16単位	運動生理学、スポーツの測定評価、スポーツ哲学、スポーツ社会学、スポーツ・バイオメカニクス、スポーツ教育学、スポーツ史、スポーツ・マネジメント

- a 2年次までに72単位以上修得見込みであること
b 下記の必修科目を修得見込みであること

人間研究の視点Ⅰ・Ⅱ	計4単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	計8単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	計2単位
キャリア教育科目群で、「キャリア基礎Ⅰ」(2単位)を含む4単位以上	
地域科目群で、4単位以上	
健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	計2単位
当該外国語の必修単位「英語ⅠA・ⅠB」(計2単位)、「英語ⅡA・ⅡB」(計2単位)、「英語ⅢA・ⅢB」(計2単位)または「日本語ⅠA・ⅠB」(計2単位)、「日本語ⅡA・ⅡB」(計2単位)、「日本語ⅢA・ⅢB」(計2単位)(いずれか計6単位)	
心理学概論Ⅰ・Ⅱ	計4単位
心理学研究法科目で、「心理学研究法」(2単位)を含む4単位以上	

- a 3年次において110単位以上修得見込であること
b 以下にあげる1～3年次必修科目61単位以上を修得見込であること

教養基礎科目	10単位	必修7科目(教養基礎講座、プレゼミナールⅠ・Ⅱ、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ、健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ)
教養発展科目	4単位	プレゼミナールⅢ・Ⅳ
必修外国語科目	4単位 4単位	第一外国語Ⅰ AB・Ⅱ AB 第二外国語Ⅰ AB・Ⅱ AB
選択必修外国語科目	2単位	選択必修外国語Ⅲ AB
キャリア教育科目	4単位 4単位	キャリア基礎Ⅰ キャリア実践論Ⅰ
専攻導入科目	13単位	スポーツ科学入門A・B、救急処置法、トレーニングサイエンス、ヘルスサイエンス、スポーツ文化論、チームビルディング
専攻基幹科目	16単位	運動生理学、スポーツの測定評価、スポーツ哲学、スポーツ社会学、スポーツ・バイオメカニクス、スポーツ教育学、スポーツ史、スポーツ・マネジメント
ゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位	

- a 3年次において104単位以上修得見込みであること
b 以下にあげる1～3年次必修科目42単位以上を修得見込みであること

基礎教育科目	14単位
キャリア基礎Ⅰ	2単位
キャリア実践Ⅰ	2単位
健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	2単位
必修外国語科目	第一外国語Ⅰ AB・Ⅱ AB 4単位 第二外国語Ⅰ AB・Ⅱ AB 4単位
選択必修外国語Ⅲ AB	2単位
専攻発展科目(各選択コース)	8単位
ゼミナールⅠ・Ⅱ	4単位

- a 3年次までに102単位以上修得見込みであること
b 3年次までに専攻科目群の未修得卒業要件単位数が12単位以下であること
c 下記の必修科目を修得見込みであること

人間研究の視点Ⅰ・Ⅱ	計4単位
プレゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	計8単位
コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ	計2単位
キャリア教育科目群で、「キャリア基礎Ⅰ」「キャリア実践Ⅰ」(計4単位)を含む6単位以上	
地域科目群で、6単位以上	
健康・スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	計2単位
当該外国語の必修単位「英語ⅠA・ⅠB」(計2単位)、「英語ⅡA・ⅡB」(計2単位)、「英語ⅢA・ⅢB」(計2単位)または「日本語ⅠA・ⅠB」(計2単位)、「日本語ⅡA・ⅡB」(計2単位)、「日本語ⅢA・ⅢB」(計2単位)(いずれか計6単位)	
心理学概論Ⅰ・Ⅱ	計4単位
心理学研究法科目で、「心理学研究法」(2単位)を含む8単位以上	
ゼミナールⅠ・Ⅱ	計4単位

長期留学へのスケジュール

4月～

留学する
1年以上前

Step 1

情報を集めよう。留学先を決めよう。

留学先を決めるときは、イメージだけで選ぶのではなく、留学先の国や大学についての情報も知っておいた方がよいでしょう。どんな国？ 各大学の授業はどんな様子？ 大学やキャンパス周辺の雰囲気は？ 寮やホームステイ先の住み心地は？ 勉強以外にどんなことができるの？ などなど。調べる方法について、いくつか紹介します。

Step 2

長期留学の応募資格を充足しよう。

P4-5をよく確認して、応募資格を充足するように準備しましょう。GPAや修得単位も要件に含まれます。そのこともふまえ、しっかり履修登録をし、授業を受けるようにしましょう。特に英語圏への留学は一定の語学能力が定められています。選考書類提出時まで充足できるよう、計画的に準備しましょう。

6月～

Step 3

長期留学選考の日程を確認しよう。

長期留学選考は9月、11月、2022年2月の計3回行う予定です。留学先によって選考日が異なりますので注意してください。選考日程は、選考の2ヶ月くらい前に掲示発表します。

9月～

Step 4

長期留学選考を受けよう。

留学先大学によって選考日や必要書類が異なります。指定された期間内に必要書式を受け取り、必要書類を提出しましょう（締め切り厳守）。いずれの選考も書類審査と面接によって行います。何を学びたいか、なぜ学びたいか、留学の目的は何か、などを明確に話せるようにしっかり準備しておくことがポイントです。

合格発表後

Step 5

留学手続き・渡航準備を進めよう。

選考の結果、交換・派遣留学生に内定したら、さあ、いよいよ留学に向けての手続きや準備が始まります。手続きは、グローバル教育センター委員（教員）がサポートをしますので、よく相談しながら準備を進めましょう。

〔注意点〕

留学の費用（主に現地滞在費）について、行き先にもよりますが、年間で100万円（アジア圏）～250万円（アメリカ、ヨーロッパ）程度が自己負担で必要になると考えてください。

翌年4月

または

翌年9月

Step 6

いざ出発！



情報の集め方



A

長期留学説明会

2021年度は
6回開催予定

駿河台大学の留学制度や留学先の紹介、長期留学選考の方法などを詳しく説明します。また、留学に必要な知識や選考に向けてどんな準備をしたらいいかなどのアドバイスも行ないます。「留学」に少しでも興味がある人は参加してみましょう。開催日が近づいてきたら、ポタロウ、グローバル教育センター掲示板（第二講義棟5階）等でお知らせします。



日程	内容
4月中旬、5月中旬	長期留学制度の全体説明 ※同じ内容ですので、都合のいい日に出席してください。
6月中旬	留学経験者の話を聞く会
7月中旬	非英語圏へ留学するための手続きに関すること
9月下旬	英語圏へ留学するための手続きに関すること
10月中旬	長期留学全体の説明&選考情報

時間、場所は各日程共通となります。

●時間 12:40~13:10 ●場所 グローバル教育センター
(詳しいことはポタロウと掲示にて確認をしてください。)

B

国際交流イベント

留学先から帰国した駿大生、駿大にきている留学生との交流を目的としたものです。留学先の様子や文化や、生活の違いなど、積極的に話を聞いてみましょう。留学に行くことのできない学生にとっても、日本にいながらにして国際交流が体験できます。友達の輪を広げ、自分の価値観を広げるチャンス！



C

留学リーフレット

“New Adventures”

長期留学の選考情報や、留学した学生からの留学報告など、留学に役立つ情報が載っています。年に2回（4月と9月）発行。グローバル教育センターで配付しています。



D

掲示板〈随時〉

選考情報や長期留学説明会・各種イベントの予定等はグローバル教育センター掲示板（第二講義棟5階）、総合掲示板（学生会館北側屋外通路）に掲示、またはポータルサイト（ポタロウ）にてお知らせします。マメにチェックをしてください！

E

オフィスアワー〈随時〉

外国語担当の教員は、外国語に関するアドバイスだけでなく、留学先大学に関する情報提供やアドバイスもしてくれます。「オフィスアワー」は教員が学生の様々な質問に答えるために設けられた時間です。教員ごとに曜日時間帯が異なりますので、まずはポタロウの「シラバス」>「教員から検索」で、先生方のオフィスアワーをチェックしましょう！

F

グローバル教育センター ホームページ〈随時更新〉

留学・国際交流情報が充実！グローバル教育センターが行っている学内の国際交流イベントの紹介、留学中の学生の留学便りなど、情報満載です。留学を考えている学生は、随時ホームページをチェックして、長期留学説明会や、国際交流イベントに積極的に参加しましょう！

G

グローバル教育センター （第二講義棟5階）

長期留学説明会、留学体験報告会や国際交流イベントの開催など、駿河台大学の留学・国際交流の情報発信基地としての役割を担っています。語学の本や参考書もあります。気軽にセンターを訪れて、情報収集してください。

H

交換・派遣留学生 アンケート

過去に長期留学をした学生から提出された留学アンケートのファイルが、グローバル教育センターの本棚にあります。先輩たちの留学体験談をぜひ読んでみてください。

I

留学生

留学生から聞いた日本に対する感想は、日本を知るいい機会です。また留学生の母国のことも聞け、視野も知識も友達の輪も広がります。日本にいながら国際交流ができます。パーティー等で積極的に声をかけてみましょう。

長期留学提携校紹介

駿河台大学では世界7カ国10大学と
交換・派遣留学協定を結んでいます。

注)各国情報は日本外務省「各国・地域情勢」サイト、各国の在日大使館公式サイト、各国国立統計局サイト、Google マップ、
ロイタージャパン外国為替、地球の歩き方、世界気象機関サイト、世界紙幣図鑑、世界コイン図鑑を参照しました。
※2020年は新型コロナウイルスの為、送出していません。

英語圏



グレートブリテン及び 北アイルランド連合王国(イギリス)

United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland



送出実績人数

大学名	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
ロンドン大学 SOAS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (予定)
カンタベリー・クライスト・ チャーチ大学	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1 (予定)

派遣留学



ロンドン大学 SOAS

School of Oriental and African Studies, University of London

ロンドン
Thornhaugh Street, Russell Square, London WC1H 0XG, UK



オックスフォード、ケンブリッジと並ぶ名門ロンドン大学の一部。アジア・アフリカ研究を専門とする高等教育機関としてヨーロッパ最大の規模を誇る。

基礎データ	創設:1916年(ロンドン大学は1826年) 学部:16Departments(アフリカの言語と文化、東アジアの言語と文化、中近東の言語と文化、南アジアの言語と文化、東南アジアの言語と文化、文化人類学・社会学、美術、考古学、開発学、経済学、地理学、歴史学、法学、言語学、音楽、政治学、宗教学など) 学生数:約5,000人		
環境	ロンドンの中心部ラッセル・スクエアに位置する都市型の大学。大英博物館、英国図書館に近く、ロンドン大学の様々な施設が近隣に立ち並び、きわめてアカデミックな環境にある。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	English Language and Academic Studies(ELAS) フレキシブルな Certificate/Diploma Programme。 9月、1月、4月開講のコース。3ヶ月~1年の期間で学ぶ。クラスはIELTS4.5~7.0に相当する4つのレベルがあり、英語の勉強とセットで大学の授業の履修もできる。 レベルに応じて、英語集中授業やアカデミック・サブジェクト(エッセイの書き方、文献の読み方、ノートの取り方等)、選択講義(Humanities:人文科学、Social Sciences:社会科学、International Business Studies:国際ビジネス研究)を履修。副専攻として、IELTS準備コース、メディア研究等も選べる。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	大学の寮は基本的には9月から始まる1年契約であり、日本の春学期から行く場合は空きがある場合にのみ利用可能。大学近辺には下宿・アパートが多数存在し、なかには賄い付きもあり。 ● SOAS Hall of Residenceの場合(食事なし):£167.97/週~(2019年度) ● 民間の学生用アパートの場合(食事なし):£150/週(フラットシェア)~£320/週(ワンルームタイプ)(2019年度)部屋のタイプや大学からの距離による。		
派遣人数	全学部から若干名(3・4年次生)	派遣期間	4月~翌年3月

派遣留学



カンタベリー・クライスト・ チャーチ大学

Canterbury Christ Church University

ケント州カンタベリー
North Holmes Road, Canterbury, Kent CT1 1QU, UK



ケント州最大の高等教育機関の一つで、ロンドンから電車で1時間程度の歴史的な街に位置する。学生は語学中心の留学か、語学+学部履修の選択が可能(後者の場合、申請前にIELTSの基準点をクリアしておくことが条件)。

基礎データ	創設:1962年 学部:人文科学、教育、健康福祉、社会科学の4学部 学生数:約17,400名(留学生は約1,500名)		
環境	イギリス南東部ケント州に位置するカンタベリーは、世界文化遺産のカンタベリー大聖堂があることで知られ、イギリス国内でも最も治安が良い街の一つとして知られている。大学のキャンパスは、歴史的な街の中心に位置し、聖堂にもほど近い。中世の雰囲気を残した街並みが特徴的で、観光客も多く、気候もよい。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	● 一般英語コース (General English) ● 一般英語・IELTS準備コース (General English with IELTS Preparation) 午前中の授業は一般英語コースと同じ。午後は、IELTSに特化した writing や speaking 等のクラスで構成されている。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	● 宿泊: ホームステイかキャンパス内・キャンパス付近の学生寮 [ホームステイ] ※キャンパスまで30分以内の範囲(2019) 朝食とキッチン使用...£125/週 平日2食...£160/週 [学生寮] キッチン共有、食事なし、ネット環境完備(2019) 例 Petros Court バスルーム付き...£190/週 ※生活費...学生寮の場合(参考)約£960(約¥134,400/月)寮費込み(£= ¥140で換算)		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間	4月~9月または4月~翌年3月(半年・1年間)



アメリカ合衆国

United States of America

派遣留学



カリフォルニア州立大学

イースト・ベイ校 California State University, East Bay

カリフォルニア州 Hayward

25800 Carlos Bee Boulevard, Hayward, CA 94542, U.S.A.

送出実績人数

大学名	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
カリフォルニア州立大学 イースト・ベイ校	1	2	4	2	2	2	2	0	0	0	1 (予定)
カリフォルニア大学 サンディエゴ校	-	-	-	-	-	-	-	4	1	0	1 (予定)



風光明媚なサンフランシスコ湾東岸のハイワード市にあり、きめ細かい指導で高い評価を得ている American Language Program で集中的に英語を学ぶ。

基礎データ	創設：1957年 学部：文理学部、経営・経済学部、教育学部、自然学部などの学士号課程、大学院(4課程) 学生数：約15,000人
環境	サンフランシスコ湾東岸に位置するハイワード市の高台にあり、広々とした美しいキャンパス。キャンパスはサンフランシスコ国際空港より高速鉄道で約1時間の郊外に位置。 学生の課外活動も活発で、75を越すクラブが、スポーツ、芸術、文化活動に取り組んでおり、学内には体育館、スタジアム、美術館、劇場、コンサートホールなどがある。 留学中は日本語のできるスタッフがサポートしてくれ、現地学生と個人的に文化交流ができる“Speaking Partners Program”など、充実した補講制度もある。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	American Language Program (ALP) 「英語で」学んだり体験したりすることを重視したプログラム。学生の自発的な体験学習を促すためのカリキュラムや課外活動が豊富に用意されている。 ①Intensive English Program (IEP) 週に18時間の集中英語コース。いくつかのクラスから構成。授業は一クラス平均15名の少人数制。 【基礎科目】午前中は教室で、6つのレベルに分かれているWriting/Grammar, Listening/Speaking, Reading/Vocabularyをそれぞれ学ぶ。 【選択科目】午後は、“US American Culture”, “Film and Music”, “California History”, “A Taste of Hospitality”など、体験を重視した科目を選択できる。また、CSUEBIは、月1回のペースで行われるIELTSの公式試験会場にもなっているため、IELTS試験対策クラスもある。 【Bay Area Experience】 担当教員から与えられた課題を5~6人のグループで協力し、Bay Area (サンフランシスコを中心とした地域)の様々な場所で体験学習する。 ②Visiting Student Program (VSP) 正規の学生が履修する一般科目を履修する。TOEFL71点またはIELTS6.0以上がプログラムに登録するための条件。1年の留学期間では、早くて3学期ないし4学期での履修を目指す。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内の学生寮 ● 3ヶ月(食費込み)：US \$ 3,821/学期(2016年度春学期) 月々の生活費(2018年度)※参考 ● 食費90~US \$ 400 ● 通信費0~US \$ 30 ● 交際費90~US \$ 400
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月~9月または4月~翌年3月

派遣留学



カリフォルニア大学

サンディエゴ校 University of California, San Diego

カリフォルニア州ラ・ホヤ

9500 Gilman Drive La Jolla, California 92093-0176



年間300日も晴れていると言われるほど天候に恵まれたサンディエゴに位置し、世界でもトップ50に入る名門校。広大なキャンパスにはユニークな建物が並び、近接した海岸ではサーフィンを満喫できる。世界中から集まった2000人以上の留学生と共に、落ち着いたキャンパスライフを送ることができる。

基礎データ	創設：1960年 学部：医学部が世界的にも有名。その他、社会科学、情報技術、人文学など200以上の専攻からなる。 学生数：33,000人
環境	カリフォルニア州サンディエゴ市に隣接するラ・ホヤ地区に位置している。キャンパスは広く、太平洋に臨むキャンパスは2,141エーカー(8.6平方キロメートル)におよぶ。(キャンパスツアーはゴルフカートのような乗り物に乗って移動した)。UCSDは、タイムズ・ハイヤー・エデュケーション誌の世界大学ランキングで31位(2020年)。研究大学として高い評価を得ている。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	英語の流暢さや日常英語を話したり理解する能力を改善したり、アメリカ文化に関する知識を深めたいという学生は、8週間英語プログラム「コミュニケーションと文化プログラム(Communication and Culture Program)」が最適。すべてのレベルの学生が受講できます。最初の週に英語のレベルが決まります。 ● 月曜日から金曜日、8:30~16:30 ● 8週間、週20時間(最初の週はクラス編成テスト、オリエンテーション、履修登録) ● すべてのレベルに対応(全11レベル、1クラス6-18名程度) ● 中核クラスでは流暢に話し理解できるようになることをめざす。 ● 日常英語/アメリカ社会と文化のコース ● 幅広い選択科目。“Listening through TV and Music”“American Music”“American Film”“TOEFL/TOEIC Preparation”“Idiom and Slang”“Everyday English”“American Culture”などアメリカ文化や英語学習を意識した14の選択コース ● 2020年日程：春(3/9~5/8)、夏1(5/18~7/17)、夏2(7/27~9/25)、秋(10/5~12/4)
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	本学もしくは本学OBが斡旋するホームステイ先に宿泊する ● US \$ 13,800.00~US \$ 20,649.00/年(2016年度調べ) 月々の生活費(2018年度)※参考 ● 食費100~US \$ 450 ● 通信費45~US \$ 100、● 交際費90~US \$ 180
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	4月~9月または4月~翌年3月

英語圏



オーストラリア連邦

Commonwealth of Australia



送出実績人数

大学名	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
モナシュ大学	1	2	3	5	4	0	1	0	1	0	0

派遣留学



モナシュ大学

Monash University

ヴィクトリア州メルボルン
 City Campus: 222 Bourke Street, Melbourne, Victoria, 3000, Australia
 Clayton Campus: Wellington Road, Clayton, Victoria, 3800, Australia
 Caulfield Campus: 900 Dandenong Road, Caulfield East, Victoria, 3145, Australia



世界で最も大規模な大学の一つで、世界的な教育水準と研究の実績を積む名門校。留学中は一般英語コースに参加。ホームステイでの生活が大きな特徴で、その運用・サポート体制は非常に充実。

基礎データ	創設：1958年 学部：Art, Design & Architecture / Arts, Humanities & Social Sciences / Business / Education / Engineering / Information Technology / Law / Medicine, Nursing and Health Sciences / Pharmacy and Pharmaceutical Sciences / Scienceの10学部 学生数：約73,000人(学部生：約50,000人、大学院生：約23,000人)
環境	シティキャンパスで授業を受け、図書館などはメルボルンの中心から約9キロ離れたコーフィールドキャンパスを利用。日本人を含む専属のスタッフが全面的にサポートしてくれる。
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	Monash English 5週間を1ユニットとするプログラムを4回20週受講。授業時間は一日4時間、週20時間(月～金、8:30～17:15)。内訳は、12時間が一般英語(General English=Core Module)、8時間が選択科目(Specialist Skills Module)。このほかに週5時間の自習時間が強く推奨されている。ユニットの前には英語力試験があり、試験結果に応じて授業レベルが決定。レベルはElementary / Pre-Intermediate / Intermediate / Upper Intermediate / Pre-Advanced / Advancedとなる。また、レベルにより、選択科目が異なる。1クラスの学生数は、10人から18人程度。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	ホームステイ ● 3食込み：AU \$54×164日=AU\$ 8,856 (2019年度調べ) 月々の生活費(2019年度)※参考 ● 食費AU \$165 ● 交際費AU \$165 ● 通信費AU \$50
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	3月～8月または9月～翌年2月

非英語圏



ドイツ連邦共和国

Federal Republic of Germany



送出実績人数

大学名	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
ミュンヘン大学	1	1	1	0	3	1	2	1	1	0	0

交換留学



ミュンヘン大学

Ludwig-Maximilians-Universität München

バイエルン州ミュンヘン
 Geschwister-Scholl-Platz 1, 80539 München, Deutschland



ドイツ屈指の名門大学で、ノーベル賞受賞者も多数輩出している。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパス。

基礎データ	創設：1472年 学部：20学部(法、経済、経営、芸術、文学など) 学生数：約51,000人(留学生約5,400人)
環境	キャンパスは、バイエルン州の州都ミュンヘン市の中心から徒歩15分。歴史の重みを感じさせる重厚なキャンパスが位置している。都会でありながら治安もよく、文化的な施設や催しも多彩。
留学プログラム(参考)	大学の講義を受講できる。また、大学と提携しているドイツ語コース(2ヶ月)を1回無料で受講できる。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	学生寮(2019年度調べ) 寮費：€280～€350/月に加え、敷金(1回のみ)€300～€400程度が必要。 ※寮は3月1日から確保。入居が遅くとも3月の1か月分の寮費が発生。 ※光熱費、インターネット費用含む。食事は無し。 保険：約€100/月+日本で入る旅行保険も加わる。 その他、必要経費として共済費約€130/学期。語学コースに参加する場合(2回目以降)、1回あたり€750/€810がかかる。 年間の生活費として、寮費、保険、食費、通信費、雑費など全てあわせて€10,000は必要。
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次)
派遣期間	4月～9月または4月～翌年3月

非英語圏



フランス共和国

French Republic



送出実績人数

大学名	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
アンジェ・カトリック大学	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1 (予定)

派遣留学



アンジェ・カトリック大学

Université Catholique de l'Ouest

アンジェ

3 Place André-Leroy B.P.10808 49008 ANGERS CEDEX 01 FRANCE



10以上の学科を有する私立のカトリック大学。本学からの留学生は、長年にわたりフランス語教育に定評のある、附属語学校CIDEF（外国人留学生のためのフランス語コース）に在籍する。

基礎データ	創設：1875年 学部：神学・歴史学・文学・語学・心理学・数学・エコロジー等、10以上の学科をもつ。 学生数：約11,000人		
環境	キャンパスは、ロワール川支流のメヌ川に沿った古い歴史を持つ、フランスの落ち着いた典型的な地方都市アンジェ市にある。世界150以上の国から留学生を受け入れている。 1947年設立のアンジェ・カトリック大学附属語学校(CIDEF)は、フランス語教育に定評があり、現在、世界中より1200名以上の学生が集まっている。大学や学生寮のパソコンを自由に使用でき、無料Wifiを利用できる。またホームステイでも無料Wifiの家庭を選べる。大学と学生寮のスタッフが連絡をとりあって、学生をサポートする体制が整っている。		
留学プログラム(参考) ※変更する可能性あり	9月：1ヶ月間、夏期コース(フランス語集中講座)を受講。フランス人学生がチューターとしてつき、フランス人学生との交流もできる。 10月以降：外国人留学生のためのフランス語コースを受講。フランス語の実力に応じて6段階に分かれる。中級より上のクラスになると、文明講座も受講可能となり、語学だけでなくフランス文化や歴史も学べる。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	宿舎またはホームステイ ●食事なし、キッチン利用可の場合 秋学期 1428ユーロ、春学期 1517ユーロ ●朝食+週3回夕食+キッチン利用可の場合 秋学期 2176ユーロ、春学期 2312ユーロ		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間	9月～翌年2月または9月～翌年6月

非英語圏



中華人民共和国

People's Republic of China



送出実績人数

大学名	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
聊城大学	0	0	4	0	0	1	1	3	1	0	1 (予定)

交換留学



聊城大学

Liaocheng University

山東省聊城市 中華人民共和国山東省聊城市湖南路1号



中国は世界を牽引する国の一つ。山東省聊城市に位置する聊城大学は広大なキャンパスを有する総合大学である。キャンパス内に宿舎を含む諸施設が揃っており、勉学や生活にやさしい。

基礎データ	創設：1974年 学部：25学部88学科(経済、管理、法律、文化、理科、工学、農学ほか) 学生数：約33,000人		
環境	聊城市は2000年以上の歴史を持つ文化都市で治安もよい。近年、大都市には薄れつつある中国らしさを肌で感じられる環境。大学には中国語教育センターが設置されており、教員が留学生のアカデミック・アドバイザーとして、サポートしてくれる。芸術系の音楽や絵画、書道、さらに体育系の授業も受講可能で、豊かな留学生活を送ることができる。		
留学プログラム(参考)	外国人のための中国語研修コース。正規の授業を受講できる。		
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	東キャンパスにある留学生専用の宿舎 ●二人部屋 ●二人で共用するキッチン、冷蔵庫、バス・トイレ、洗濯機 ●Wi-Fi(別払い) 月々の生活費(2018年度) ●食費～500元 ●通信費0元 ●交際費～100元		
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)	派遣期間	2月～7月または2月～翌年1月、9月～翌年2月または9月～翌年7月



大韓民国

Republic of Korea



送出実績人数

大学名	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
延世大学	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0
東西大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

交換留学



延世大学 Yonsei University

ソウル 134 Shinchon-dong, Seodaemun-gu, Seoul 120-749, Korea



プロテスタントの宣教師により設立。韓国最古の伝統を誇る私立の一流総合大学であり、「ない学部がない」と言っても過言ではないほどの数多くの学部・学科が存在する。

基礎データ	創設：1885年 学部：文学、経済学、経営学、理学、工学、生命システム学、神学、社会科学、法学、音楽学、生活科学、教育学、国際学、医学、歯学、看護学、薬学などの学部があり、さらに細かく学科が存在する。 学生数：約18,300人、(本校の学部生数、2017年10月1日時点)
環境	みどりに囲まれた静かで広い快適なキャンパスは、首都ソウル特別市の中心部から西北に約15分の場所の新村(シンチョン)にある。新村周辺は大学も多く、大変にぎやかな学生街。たまに映画やドラマの撮影が行われている。 留学生サポートシステムが整っており、希望者は、現地の学生との「言語交換(1対1で韓国語と日本語を教えあうこと)」プログラムに参加できる。また学生のくつろぎの場「Global Lounge」があり、マルチチャンネルのテレビ、インターネット、各国の資料が整備されている。
留学プログラム(参考)	交換留学生向けの英語による授業と韓国語学堂が提供する交換留学生対象の韓国語学習プログラムが開設されている。1学期に履修登録しなければならない単位数は9~18単位である。先の履修登録可能科目には韓国語学堂の交換留学生対象韓国語学習プログラム(6単位)が含まれている。韓国語学習プログラムでは、学生の韓国語学力レベル別に授業が行われる。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	キャンパス内のSKグローバルハウスやインターナショナル・ハウスなどの留学生向け学生寮などがある。エアコン、バス・トイレ、テレビ室、コンピュータ室、食堂、洗濯室、売店などあり※希望者は、下宿やホームステイによる生活も可能。 月々の生活費(2017年度)※参考 ●食費20,000W ●通信費15,000W ●交際費150,000W
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	3月~7月または3月~12月、9月~12月または9月~翌年7月

交換留学



東西大学 Dongseo University

釜山 47 Jurye-ro, Sasang-gu, Busan 47011, Korea



韓国第2の都市である釜山市内に位置する私立総合大学です。経営、外国語、デジタルコンテンツ、映画芸術、映像マスコミなどの分野で高い評価を得ています。

基礎データ	創設：1970年 学部：経営、外国語、映像、メディア、社会福祉、観光、医療、スポーツなどの分野に学部・学科が存在する。 学生数：約10,500人(学部のみ、2019年時点)
環境	大学は地下鉄最寄り駅の令井(ヨンジョン)駅から路線バスで5~7分程度であり、釜山の中心街である西面(ソミョン)にも地下鉄を利用するとスムーズに行ける。日本語学科があるため、日本人留学生と日本語を学習する韓国学生との交流が積極的に行われている。近年の世界的な韓流ブームのなか、ITや放送の教育にも強みを入れており、放送設備や演劇舞台などユニークな施設も豊富である。
留学プログラム(参考)	韓国語で学ぶコースと英語で学ぶコースがあり、各々のカリキュラムが用意されている。本学と重複する学問分野(警察行政、経営・会計、日本語・日本文化、メディア[放送、通信、制作]、IT・デジタルコンテンツ、観光・ホテル、スポーツ等)を持つ。留学時は、日本語学科に在籍する学生と交流しながら韓国語と韓国文化に触れる学びが中心であり、関心のある専門講義を一部選択受講することも可能。
宿舎、生活費(参考) ※変更する可能性あり	1,200名が入居できる学生寮(原則として入寮可能)がある。2人部屋でバス・トイレ付(旧館は共同)。食事は共同キッチンで自炊となる。家賃は1学期(15週)当たり500,000ウォン(約50,000円)である。
派遣人数	全学部から若干名(2・3・4年次生)
派遣期間	3月~7月または3月~12月、9月~12月又は9月~翌年7月



- スポーツ科学部
- 現代文化学部

海外・語学研修授業紹介

スポーツ科学部・現代文化学部では、海外研修や語学研修の授業を実施しています。今年度実施予定の研修関係授業の紹介をします。

海外スポーツ文化研修

南半球でコミュニティスポーツを学ぶ

- ▶ 研修先 ウェリントン（ニュージーランド）
- ▶ 研修期間 2月中旬から約2週間
- ▶ 研修費 40万円程度（大学より5万円の奨励金あり）
- ▶ 対象学生 2・3年生
- ▶ 募集人数 10名前後（例年5-8名の参加がある。）
- ▶ 研修内容・目的

真冬の日本を飛び出し、南半球に位置する真夏のニュージーランドでコミュニティスポーツについて、その理論と実践を学びます。主な研修先はNew Zealand Institute of Sport (NZIS) という、とても有名なスポーツ高等専門学校になります。また、この研修期間中には語学学校（Campbell Institute, Wellington）にも籍をおき、語学（英語）のブラッシュアップにもチャレンジします。そして、嬉しいことに上記2校からは「修了証書」を研修最終日にいただくことができます。

滞在する場所は、首都のウェリントンです。そして、約2週間の滞在期間中はスポーツに理解のある現地の家庭に各自ホームステイをします。また、帰途には研修目的に則したいくつかの国内地域を訪問します。



バスケット仲間たちと



海辺でのランチ



友人とビーチでのひと時

国内英語研修 ※現代文化学部のみ

実用的な英語力を身に付けながら、日本国内の「中世英国」という異文化をより深く理解する

- ▶ 研修先 ブリティッシュヒルズ／福島県岩瀬郡天栄村大字田良尾字芝草1-8
- ▶ 研修期間 2022年2月、2泊3日（変更する可能性がある）
- ▶ 研修費 70,000円程度（予定）
- ▶ 対象学生 2年次生以上
- ▶ 募集人数 2名以上
- ▶ 研修内容・目的

国内英語研修は、現代文化学部国際文化コミュニケーションコースが2018年度に開設した科目です。学生のみなさんは、「ブリティッシュヒルズ」という国内の魅力あふれる英語集中プログラムに参加します。

ブリティッシュヒルズに一歩足を踏みいれてまず気づくのは、そこにいる人びとがみな（授業中でもないのに！）英語で会話をしているこ

と。ここでは英語を公用語とし、中世の英国の街並みが再現されているため、自然と英語を話す環境が整えられているのです。

授業もたいへんユニークです。初級クラスを紹介すると、たとえば、「おしゃべり」(Small Talk) という授業では、ゲームやアクティビティを通して自己紹介のしかたや基本的な会話の始め方、適した話題について学びます。また、物事や人物を表現する授業 (Basic Describing Things/ Basic Describing People) では、やはりアクティビティを通じて、モノ・コト・ヒトを表現するための形容詞を学び、描写力の向上に役立つレッスンになっています。そのほかにも、「自分について語ろう」(Talk about Yourself) ではさまざまな側面から自分のことを伝える練習をし、「トラベル英語」(Travel English) では、海外旅行をするときに、空港やレストラン等で役立つ会話をロールプレイで練習します。そして、教えていただく先生たち



はみな英語圏出身。とても熱意のある魅力的な先生たちばかりです。

ブリティッシュヒルズの研修に参加することによって、英語力やコミュニケーション力を伸ばし、さらに、異文化への理解を体感的に深めることができます。まさにパスポートなしの留学体験です。海外留学に少しためらいがある人は、まずは国内の語学留学を体験してみたいかがでしょうか？



短期留学(海外語学演習)

*2021年度は夏休みの送出しは中止。春休みの送出しは、6月下旬頃、可否を決定する予定です。

短期留学は、「海外語学演習」として、各学部のカリキュラムに配置されている4単位の授業科目です。

特徴

1

夏休み・春休みの3～5週間を利用して、提携機関の充実したプログラムへ参加可能！

駿河台大学で開講している全語学(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語)に、提携する海外の指定機関があります！語学プログラムのほか、観光ツアーや文化体験イベントなども充実しています。プログラムの詳細は、『短期留学提携校』一覧表およびガイダンスで確認してください。

『海外語学演習』情報の入手先

- 留学リーフレット『New Adventures』
- ガイダンス(ガイダンス配付資料は、グローバル教育センターでも閲覧できます)
- シラバス(『海外語学演習』の各語学欄を参照のこと)
- 過去の先輩たちの「短期語学研修参加者アンケート」(グローバル教育センターで閲覧可)

2

履修登録と必要な手続きをすることにより、原則誰でも参加が可能！

履修登録をしていない学生は、参加することができません。履修登録をすれば、翌年度以降も何度でも参加することができます。春学期中に行われる事前指導とセットで、帰国後は4単位が付与されます。

3

担当教員と、1学期間かけて綿密に準備！

夏休みに参加する場合は春学期に、春休みに参加する場合は秋学期に、担当教員が、1学期間をかけて、留学手続きや語学、現地での生活などの事前指導を行いますので、安心して出発することができる！

4

5万円の奨励金を支給

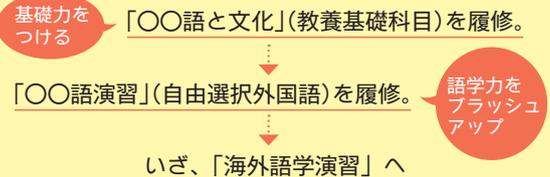
留学にかかる費用は全額自己負担となりますが、5万円の奨励金を大学から給付しています。参加費用の目安は『短期留学提携校』の一覧表で確認してください。



参加までの流れ

まずは、必修の外国語科目をきちんと受講！

履修していない外国語圏に参加したい場合は、こうしよう！



step 1

『海外留学ガイダンス』に参加

『海外留学ガイダンス』は、3月末～4月初のガイダンス期間中に実施します。詳しい日程は、「2021年度行事予定表」をチェック！

step 2

『海外語学演習』を履修登録

履修登録期間に必ず履修登録を！(履修登録をしない場合、参加できません。)履修登録の方法が分からない場合は教務課またはグローバル教育センターへ。

step 3

『第1回事前指導』に参加

新学期の授業開始週に行います。2回目以降の事前指導スケジュールを決定しますので、必ず参加してください。日程・場所は、ポタロウまたは各学部の掲示板で確認してください。

step 4

2回目以降の事前指導に参加

短期留学プログラムへの留学手続きや語学指導、現地生活のアドバイスなどを行います。決められたスケジュールどおりに準備をしていきましょう！

step 5

出発

step 6

帰国

担当教員へプログラム終了と参加の報告をしてください。アンケートや体験報告会への協力もお願いします！

帰国後のオプション

- ▷ 『〇〇語演習』(自由選択外国語)で、さらに語学力に磨きをかけることもできます。
- ▷ もちろん、長期留学にチャレンジすることもOK！可能性を広げよう！

『海外語学演習』の事前指導内容はコレだ！

春学期授業計画			
第1回	海外語学演習プログラムの概要	第9回	日常生活のマナーと表現(1)
第2回	現地の社会と文化(1)	第10回	日常生活のマナーと表現(2)
第3回	現地の社会と文化(2)	第11回	手続き等の説明と指導(3)(航空券手配)
第4回	外国語でのあいさつと自己紹介	第12回	現地の地理・交通
第5回	手続き等の説明と指導(1)(入学申込)	第13回	大学と参加プログラムについて
第6回	旅行会話(1)	第14回	手続き等の説明と指導(4)(保険手続き)
第7回	旅行会話(2)	第15回	まとめ
第8回	手続き等の説明と指導(2)(ビザ申請)		

+ 春期休業期間中に研修が行われる場合は、秋学期に履修登録・事前指導を行います。
+ 表は一例です。参加する海外語学演習により、事前指導の内容は異なります。

短期留学提携校

※表中の費用は、過去の実績に基づく目安として参照してください。
 実際には、現地校の授業料や寮費の改定、通貨レートや航空券の価格変動等によって、変わります。

英語	<p>カンタベリー・クライスト・チャーチ大学 /ケント州カンタベリー(英国)</p> <p>コース名:一般英語サマースクール 研修期間:8月(3週間) 研修費用:450,000円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 世界遺産のカンタベリー大聖堂からほど近い歴史的な街の中心に位置し、初心者から英語を学べる数少ない英国の大学です。</p> <p>*2021年度は開講しません。</p> 	<p>カリフォルニア大学サンディエゴ校 /カリフォルニア州ラ・ホヤ(米国)</p> <p>コース名:Conversation and Fluency 研修期間:8月(4週間) 研修費用:600,000円前後(授業料・渡航費・現地滞在費用を含む) 太平洋を臨む広大なキャンパスで、自然な英語での会話やアメリカ文化を学ぶ。文法や語彙力の向上を図る授業に加えて、学生たちは他の留学生や現地学生、コミュニティの人々で構成される。UCSD英会話リーダーと交流する機会もある。研修期間中は大学内の寮かホームステイを利用。治安も良好。</p> 
英語	<p>モナシュ大学 /ヴィクトリア州メルボルン(オーストラリア)</p> <p>コース名:短期英語研修 研修期間:8月中旬より(5週間) 研修費用:500,000円程度(授業料・寮費・渡航費を含む) 英語によるコミュニケーション能力の養成、オーストラリアの生活と文化の理解、学生や市民との交流を深める。滞在中はホームステイ。</p> 	<p>フィリピン中央大学 /ビサヤ諸島バナイ島・イロイロ市(フィリピン)</p> <p>コース名:一般英語コース(General ESLコース) 研修期間:2月(4週間) 研修費用:250,000円程度(授業料、寮費、1日3食込み) 費用が安く、TOEICなどの条件なしで参加できるプログラム。マンツーマンレッスンを中心に基礎的・実用的な英語力の向上を目指し、最後の1週間はインターンシップを経験する。研修期間中は英語研修センターの寮に宿泊。</p> 
ドイツ語	<p>ウィーン大学/ウィーン(オーストリア)</p> <p>コース名:国際ドイツ語コース 研修期間:8月(4週間)もしくは9月(3週間) 研修費用:300,000円程度 外国人のためのドイツ語コース。レベルは1から6まで用意されており、初心者も参加可能。学生寮に宿泊。月～金の午前中に授業。午後は、ウィーン大学主催のドナウの船旅等の企画や、ウィーン大学講師の講義に参加することもできる。</p> 	<p>パリ第4大学ソルボンヌ/パリ(フランス)</p> <p>コース名:フランス語・フランス文明講座(夏期講座) 研修期間:8月(4週間) 研修費用:550,000円程度 外国人対象のフランス語講座として世界的に有名。語学力によってクラス分けがされるので、無理なく受講できる。主に実用フランス語研修と発音矯正。希望者はフランス文化・文明についての講演も受講が可能。</p> 
フランス語	<p>アンジェ・カトリック大学/アンジェ(フランス)</p> <p>コース名:夏期講座8月コース 研修期間:8月(4週間) 研修費用:650,000円程度(授業料・渡航費・現地滞在費用を含む) 最初に語学力に合わせてクラス分けされる。入門クラスから6段階のレベルに分かれる。各クラス10～20名程度、文法、会話、語彙、発音をバランスよく学べるようプログラムされている。週末には、スポーツ活動、映画鑑賞、文化的催し、日帰りバス旅行なども楽しめる。</p> 	<p>北京師範大学/北京(中国)</p> <p>コース名:夏季短期コース 研修時期:7月下旬より3週間と4週間の2コースあり 研修費用:25万～28万程度、留学生宿舍の宿泊 5名～15名の少人数クラス、初心者でも無理なく学べる。課外活動として、京劇や雑技の鑑賞と万里の長城、天壇公園など訪れる。</p> 
中国語	<p>国立台湾師範大学/台北(台湾)</p> <p>コース名:短期語学研修 研修期間:8月上旬より3週間 研修費用:270,000円程度、1人部屋希望の場合変動あり レベルに応じた10名以下の少人数クラス。語学授業以外に文化関連授業や行事も充実している。</p> 	<p><small>リャオチン</small> 聊城大学/山東省聊城市(中国)</p> <p>コース名:中国語短期研修プログラム 研修期間:8月下旬より3週間 研修費用:180,000円程度(授業料、宿泊料免除) 長期留学では、本学と20年近い交換留学の実績がある。2019年度より海外語学演習の受け入れを開始。手ごろな費用で行きやすい機会を提供。研修期間中は、午前中に授業、午後は交流の時間となる。中国は9月から新学年のため、キャンパス内は賑わい、他の国の留学生や地元の学生と交流することができる。宿泊は留学生寮。キャンパス内外の食堂、レストランが充実。自炊もできる。日本人がほぼいないので、本気で中国語の力を身に付けたい学生に最適。</p> 
韓国語	<p><small>ヨンセ</small> 延世大学/ソウル(韓国)</p> <p>コース名:3週間短期課程 研修期間:8月(3週間) 研修費用:300,000円程度 初級から上級までの8段階のクラス編成で基礎的な日常生活会話や韓国社会について、じっくりときめ細かい指導をしてくれる。初心者でも安心して参加できる。</p>  <p>*研修期間は通常期です。 *2021年度の派遣について夏休み(7～9月)の派遣は中止します。 春休み(2～3月)の派遣またはオンラインでの実施を提携校と調整中です。 詳細は7月下旬ごろお知らせする予定です。</p>	



グローバル教育センター

グローバル教育センターでは、外国語学習をサポートし、楽しく学ぶ場を提供しています。外国語の学習方法がわからない、外国語の授業についての質問があるなど、外国語の学習についてわからないことがあれば、気軽に相談することができます。

語学試験の問題集、外国の読み物やマンガ・雑誌もあり、教材付属のCDも利用できます。

長期・短期の留学に関する相談を受けることもできます。

外国語学習に対して関心がある人、少し苦手だけど挑戦したいと考えている人は学部・学年関係なく誰でも利用できますので、気軽にお越しください。